

### 福島医療生協の 現況

(2012年7月末現在)

組合員

28,961名

出資金

8億47,199千円

一人平均

29,253円

# ふくしま



発行所  
福島医療生協

# 医療生協

2012年9月号 第340号  
発行責任者 渡辺 幸夫  
<http://www.fmc.u-coop.or.jp>

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34番地
生協いいの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字塗谷地20-1

二〇一二年生協強化月間がはじまります

## スローガン 医療生協の魅力語り、 組合員と手配りさんを 増やそう！

高齢化・孤立化・貧困化が地域の隅々に進行し、原発事故の影響が続く中、安心してまちに暮らしていくために、地域のつながりが強く求められています。福島医療生協の仲間ふやしは、その要求にこたえる最善の道です。組合員になってもらうことで、いざという時に暮らしたいのちを支える事業と、日々の健康な生活を支える組合員活動が発展します。

### 私たちが取り巻く 情勢

元気な高齢者が増える一方、認知症をかかえる高齢者の増加、一人世帯が全世帯構成のトップになり、中高年の閉じこもりも問題、すべての世代で貧困化が進行しています。これら暮らしにかかわる諸問題を、原発事故がよりいっそう複雑で深刻なものに

### 福島医療生協の 特徴を活かすとき

福島医療生協には、組合員二万九千人と職員五百人という大きな力があります。医療・介護・保育の専門家(職員)と暮らしの専門家(組合員)が、ともに力を合わせて活動しています。それぞれの地域には、安心して暮らせるまちづくりの推進本部として支部があり、ブロックで協力し合い

### 出資金で活動 している事業

### 医療・介護事業



東日本大震災避難所訪問活動

ながら活動しています。機関紙配布や班を通じて、組合員どうしが信頼で結びついていきます。医療現場と地域の連携が密な福島医療生協は、震災原発事故発生時から今でも大きな力を発揮しています。

## 「集い、つながり、つくりだす」

～班に集い、手配り配布でつながり、  
支部が安心して暮らせるまちをつくりだす～



渡利のお茶会



笹谷仮設住宅  
でのお茶会と  
健康チェック

### 今そしてこれから 私たちが行うこと(方針)

- 1 放射線に負けない健康づくりとして、十月から十二月にかけて健康チャレンジに取り組めます。昨年はブロック毎に行った健康教室を今年は十一月十一日(日)に職員の参加も含め全体で行います。
- 2 今後も空間線量・食品放射能

### 支援事業

- 1 組合員ふやしで年度目標の8割以上を達成します。
- 2 積立増資に参加する組合員を増やします。
- 3 ブロック毎に保健大学の開催を進めます。
- 4 暮らしと平和を守る取組み
  - 1 社会保障の改悪と増税、TPPへの参加に反対する運動を推進します。
  - 2 原発ゼロと完全賠償、平和を求める運動を進めます。
- 3 より強固な医療生協づくり
- 3 「救急ポット」の普及に向けた取組みを進めます。

## さようなら原発十万人集会に参加 フクシマを繰り返さない



全国に広がる  
原発ゼロ・再稼働反対の波



17万人が集まった「さようなら原発10万人集会」

# ベクレルモニター 測定報告

栄養科科長  
関場 治美



昨年十二月より始めたベクレルモニターでの食品の放射能測定。今では職員の手を離れ、組合員さんにより、段取り良く行なわれています。受付から測定まで面倒な手順をテキパキとこなしていける様子に、熟年のパワーを感じます。素晴らしい活動です。

お陰さまで、集まったデータから今後活かせることを見つけていくことができました。今回は二つのことをお話します。参考にしていただけたらと思います。

## ① 茹でる、水に晒すと減る

様々な本に、セシウムは水に溶け出ていく性質があるので、茹でる・水に晒すと良い、塩や酢を加えるとさらに溶け出てきやすいとあります。本当かどうか確かめるため、組合員さんの協力で山に生えているワラビで実験してみました。きれいに洗っただけでは二十八ベクレル/kgでしたが、塩茹で後にきれいに洗ったら0表示になりました。ゲルマニウム半導体でも検出限界値は一ベクレル未満なので正確には0とは言えませんが、かなり減ったことは間違いありません。ですので、家庭菜園で五〇〇gも検査に使えない、頂いたけれど大丈夫だろうかという迷った時は、茹でる・水に晒すなどを行ってから食べることをお勧めします。筍、

芋、南瓜、栗のように固い食品は、大きいままでではなく、小さく切る、薄く切ることで流しやすくなります。安心して納得して食べられれば心の安定にも通じ、より美味しく頂けます。

## ② 当院使用機種の特徴

当院で使用しているLB-200という機種は、カリウムや他の放射性物質も拾うので高めに出るといふこと。例えば井戸水には天然の鉍物由来の放射性物質が多いため高い数字が出ます。また、野菜、果物、肉、魚、卵、乳製品など多くの食品には天然の放射性カリウムが含まれており、計算式である程度はカリウムの分を減らしているものの、カリウムの多い食品や肥料の影響によっては、高めに出るようです。



(関場さんの講演のようす)

## 今後の学習会の予定

- 9月29日 10時～11時30分  
こむこむ
- 10月16日 10時～11時30分  
保健福祉センター(マタニティー)
- 10月30日 10時～11時30分  
信陵支所
- 11月27日 10時～11時30分  
もちずり学習センター

# 続く全日本民医連からの医師支援、 私たちが自身で医師体制の確立を

医局事務課 最上晋平

安全と安心は違います。福島県の作物は美味しいので、県民の知恵と工夫で、食べて支えていきたいものです。

## 8月2日 食品放射能測定結果を話し合う会(あづま支部)

地域内の家庭菜園や頂いた野菜は食べられるだろうか、そんな疑問・心配に伝えるため事前に組合員で測定した結果をもとに意見交換をしました。食品はおおむね検出限界値以下でした。今後も空間や食品の放射線測定を実施する予定です。

組合員で一日かけて10品目以上の食材を測定しました。▶



## 組合員のための院内感染予防講座(前編)

院内感染。この言葉は何やら恐ろしい響きをもって私たちに迫ってきます。マスコミはさらに恐怖を煽るような報道をします。

院内感染とは、「院内」と付きますから病院の中で、本当はかからなくてもよかった感染を受けることです。入院したとき(入院した日)に採取した検体から菌が検出されても院内感染とはいいません。それがどんな面倒な菌であっても「入院する前から感染していた」といいます。入院している最中に、新たに感染したときに、院内感染といえます。

それでは、入院された患者様に院内感染が発生しないように病院スタッフがどのような取り組みをしているか紹介をします。私達が参考にしているCDCガイドラインでは(世界中の医療機関で参考にしているガイドラインです)「標準予防策」という考え方をします。これはどのような患者様に対しても共通して守らなければならない約束事です。手洗い・手袋・マスク・エプロン・ゴーグル、これが基本グッズです。(後編へ)



臨床検査科 科長  
加藤 幸子



霊山支部  
菅野 顕光さん



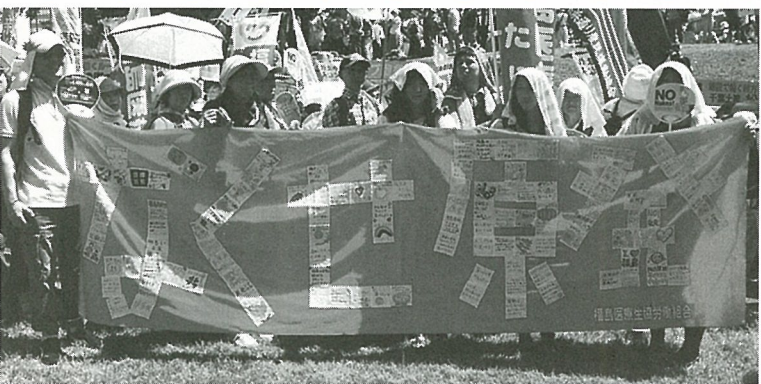
いいの診療所 所長  
松本 純先生

## 参加者の感想

## 「さようなら原発十万人集会」に行ってきました

炎天下の中参加したが、現地に到着した時にはメイン会場はすでに満杯で会場付近の草むらに座って聞きました。パレードでは沿道からのいたわりの声に連帯を感じるとともに、いくつかの隊列を目にし、まだまだできる

東京駅からの地下鉄車内放送「今日は大規模集会が行われています。原宿駅は込み合っています。周辺駅をご利用ください。」夏の太陽が降りそそぐ明治公園、周辺でもそれぞれに小集会、「福島」や「福井」の言葉が聞き取



労組の呼びかけで作成した横断幕を持っていきました。文字は職員のメッセージが書かれた端布を寄せ集めてできています。大勢の参加者が撮影していました。(7/16「さようなら原発10万人集会」にて)

# 不活化ポリオワクチンのお知らせ

2012年秋からポリオワクチンの制度が変わります。生ワクチン(生きたウイルスを使用)から、不活化(生きたウイルスを使わない)ワクチンに変わります。そのためワクチンによる麻痺の発症(これまで年間1-2例発生)がなくなります。



小児科医師  
熊谷 研一

いままでは経口接種(飲むワクチン)でしたが、今後は皮下接種(注射)になります。また集団接種から個別接種(各自が医院で受ける)になります。接種回数も2回から4回になります。すでに経口接種を1回受けたお子さまは、残り3回の注射が必要です。

当院でも接種できるように準備中です。小児科にお問い合わせください。



将来はわたり病院のお医者さんになってね。毎年行っている高校生1日医療スタッフ体験のようす。

全日本民医連(以下全日本)は「被災後約一年で、県内百三十八の病院から七十

## 拍車のかかる医療崩壊

東日本大震災と原発事故により、福島からの県外避難者数は六万人に上ると報じられました。その中には医師もいます。

一人の医師が県外に流出した」と報告、医師不足に拍車がかかっています。当院からも一名の医師が避難し、全日本はこの事態を「深刻な医療崩壊が進んでいる」と確認しました。

## 支援に感謝、再生に意欲

四月から三月月間大山美宏医師(前川崎協同病院院長)が支援として滞在し、七月からは二週間毎に全国の民医連の事業所から医師を派遣していただいています。この支援には、感謝してもしきれません。しかし、当然この支援はずっと続くものではありません。病院再生のためには福島医療生協自身の医師が必要であり、自分たちの手で医



感謝の気持ちを込めて発行している支援医師ニュース「雪うさぎ」

## 学生に響け、組合員がいる病院

二〇〇四年に臨床研修制度が変わり、学生は研修病院を選択できるようになりました(マッチング制度)。これにより学生は都市部に流出、地方病院の医師数は絶対的に足りません。

ただそういった中でも、わたり病院で研修をしたいと感じている学生がいます。病院の研修システムや全医療スタッフの支え、健康づくりや仮設住宅お茶会などの組合員活動が「いのちとくらしを守る」という点で震災以降特に学生に響いているように感じます。

夏休みの期間中は医学生や高校生が病院見学にやってきます。若い世代の体験は将来大きく影響することを考えると、「組合員がいる病院」というまたとない場所を経験した学生が成長してなお、わたり病院に戻って来てくれることに希望を抱いています。

## 福島から声をあげていきましょう!

# 『ふくしまSMILEプロジェクト』が呼びかけ

ふくしまSMILEプロジェクト事務局 佐藤 大河

## 福島市で『No Nukes! 原発いらない Fukushimaサウンドデモ』を開催。

7月29日に開催したサウンドデモでは、福島市内をサウンドカーの音楽や、参加者が持ち寄った楽器に合



原発いらないFukushimaサウンドデモのようす

わせて「原発やめっぺ!」とコールし150人がパレードしました。お店から飛び出してきた手を振る人や、飛び入りで参加する通行人、宮城県や東京都からの参加もありました。

## 毎週金曜日、街頭で行動しています

8月3日からは首相官邸前行動に合わせてアピール行動を始めました。福島から「再稼働反対」「原発をなくしたい」の思いを広げていきましょう。ご参加お待ちしております。

◆場所: 街なか広場西側(13号線側)歩道  
日時: 毎週金曜日 18時~19時

## ふくしまSMILEプロジェクト

3・11直後、福島の有志の青年で結成。チャリティー屋外音楽イベントや震災ボランティアなどに取り組んでいます。

●ホームページ <http://fukushimasmilepj.web.fc2.com/>  
●ツイッター F\_smile\_pj ●Eメール [f\\_smile@mail.goo.ne.jp](mailto:f_smile@mail.goo.ne.jp)

# 「原発いらない」を福島から

## — 全国に広まる原発ゼロの思い —

大飯原発再稼働が宣言されてから全国に広まる原発ゼロ、再稼働中止を求める抗議行動。毎週金曜の官邸前行動をはじめ、ネットでの呼びかけなどで参加者が増加しています。

当生協も7月16日東京・代々木公園で行われた「さようなら原発10万人集会」に大型バス2台を手配し組合員と職員計80人で参加しました。福島の現状と、被災県として「原発いらない」の思いを伝えてきました。



## ティッシュに入れたメッセージカード



7/16「さようなら原発10万人集会」の会場で看護部が用意したポケットティッシュを配りました。ティッシュには全国からの支援に対するお礼のメッセージが付けられています。

ことがあると自信を得た集会でした。これから長い人生を過ごす子供・孫たちに、原子力発電に頼らない社会を残すことが私たちの責務ではないかとの思いを強くしました。

れます。この一年数カ月、福島県民としては「日本の政府」とどこん絶望させられてきました。しかしこの日に出逢った十万人の「日本の国民」には希望を感じさせてもらいました。

# 組合員でよかった

飯野支部  
高橋 広男さん

町をあげて喜びに沸いた福島医療生協の診療所開所以来早35年、私も診療所の先生のご指導をいただきながら今日に至っております。何分にも高齢者ですので近くに生協の診療所があるのが強い限りです。生協の種々のイベントに参加するたびに、職員さんや組合員みなさんが、本来の健康を守る活動と共に、常に弱い者の味方になって取り組む姿に、清々しい感動をいただいております。私は無力者ですが何かお手伝いしようと「ふくしま医療生協ニュース」の手配りをしております。上り下りの多い田舎道を徒歩で2回に分けて行きます。手配りを終わって汗を拭いたら「ああ、俺もまだ生きてるワ」と自己満足している今日この頃です。



飯野支部新年会で、乾杯の音頭をとる高橋広男さん。動と共に、常に弱い者の味方になって取り組む姿に、清々しい感動をいただいております。私は無力者ですが何かお手伝いしようと「ふくしま医療生協ニュース」の手配りをしております。上り下りの多い田舎道を徒歩で2回に分けて行きます。手配りを終わって汗を拭いたら「ああ、俺もまだ生きてるワ」と自己満足している今日この頃です。

## あなたのよかったを大募集!

[宛先] 〒960-8141 福島市渡利字中江町66 福島医療生協組織部内 「組合員でよかった」係まで

### お詫びと訂正

「ふくしま医療生協2012年第339号」クリニックさくらみず診療案内に誤りがありました。皆様にはご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。下記のとおり訂正いたします。

- [正] 土曜日 午前 第1・3・5佐藤 第2・4鈴木
- 土曜日 午後 ー(診療なし)
- [誤] 土曜日 午前 ー(診療なし)

### 無料 法律相談会

- 日 時 9月13日(木) 13:30~15:30 10月11日(木) 13:30~15:30
- 場 所 医療生協わたり病院内
- 事前申込制 Tel. 522-1236
- 相談員 深谷 拓弁護士(あぶくま法律事務所所属)

## INFORMATION

### これからの行事

9月~10月

どうぞご参加ください

#### いいの健康まつり

- ◆日時/9月29日(土) 10:30~14:30
- ◆場所/生協いいの診療所

#### 第12回さくらみず健康まつり

- ◆日時/10月14日(日) 10:00~13:30
- ◆場所/ふれあいクリニックさくらみず

#### 齋藤紀先生講演会

- ◆日時・会場 9月25日(火) 18:30~20:00 立子山多目的集会所
- 10月25日(木) 13:00~14:30 蓬萊学習センター分館2階ホール

【問合せ・申込先】

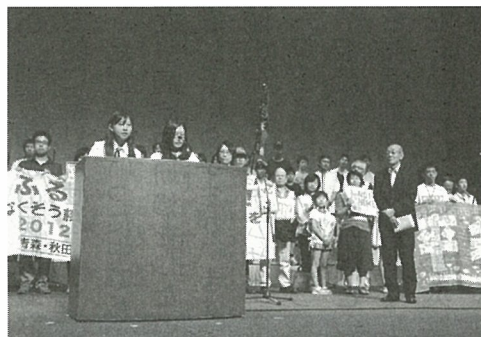
福島市保健福祉センター 健康推進課 成人保健係 Tel.525-7680

「わたしたちは故郷へ帰りたい：」広島で被爆された方たちと、福島での原発事故による低放射線被ばくから逃れて避難生活をしている私たちの思いは通じるものがあります。私たちの未来に核兵器、原発はいりません」と福島市で避難生活を



清水南支部 久保田喜代

若い世代の人たちに歴史と記録を伝えていくことの大切さを痛切に思い、大量破壊の核兵器、原発事故は人権を否定することにつながるものであることを身に



壇上から訴える女子高生と浪江町長(右)、福島県代表団(後)

派遣募金(組合員1名・職員1名)の協力をありがとうございました。

# 私たちの未来に核兵器・原発はいらない 原水爆禁止二〇一二年世界大会(広島8/4~6)

送る二人の女子高校生が、最終日の閉会総会の壇上から訴え、参加者七千二百人の暖かい声援拍手に包まれました。私たち福島県代表団は、福島医療生協から預かった「平和」の文字が縫い付けられた横断幕を掲げながらとても感動しました。

みて感じました。福島医療生協の組合員活動として現代に起きていることを注視し、未来に生きる子供たちのために住みよい街をつくるために声を上げることの大切さを再認識しました。

## 11/11(日) 福島医療生協健康ウォーク 開催!

三法人合同高齢者住宅建設委員会報告

地域まるごと安心ネットワークの構築をめざして

土地や建物の利用や提供するサービスについて県や市と協議を行い、手続きの準備を進めています。また、ヘルパーサービスの連携や通所系事業所の検討、セントラルキッチンを見学し、入居者にとって重要な食事の提供について検討を重ねています。

8/10 職員・地域のみんなもリフレッシュしました。

## 医療生協わたり病院夏まつりが行われました。



…来年もやりましょう!

### 第12回民医連ピースリレーマラソン福島大会

日時: 10月14日(日) 9:30~ 会場: あづま総合運動公園

全日本民医連駅伝大会が福島市で開催されます。全国の民医連の仲間が集まり、平和や福島の復興に思いを寄せタスキをつなぎます。福島県民医連から2チームが参加します。ぜひ応援をお願いします。

### 参加&応援待ってます!

### 福島県民医連9・30ピーチャリ「フクシマで生きていきたい NO! 原発」

日時: 9月30日(日) 9:30~16:00

ピーチャリとは自転車で走行しながら平和を訴える企画です。今回はわたり病院を出発し、市内の事業所を巡ります(約40km)。みなさんのご参加や沿道からの声援をお待ちしています!

(申込み・詳細: 組織部 Tel. 522-1236)